

明治二十年八月改定

堅沢武三郎君

英吉利法律學校規則

完

東京神田區錦町二丁目二番地

英吉利法律學校



本年度則チ明治二十年四月ヨリ
本校へ毎年五千圓宛司法省ヨリ
下賜セラレ候

明治二十年五月

英吉利法律學校

明治二十年正月
英吉利法律学校規則

本館へ送附
本館
本館
本館

創立旨趣

方今未タ英米法律ノ長所タル法律實地應用ノ道ニ通
スル者甚尠ナシ是蓋講師ノ數全キヲ得テ其全科ヲ教
フル所ナキト其蘊奧ヲ極ムルニ足レル書籍ナク又法
律書庫ノ設ナキトニ由ラスンハアラス而シテ世間往
々英米法律ヲ教授スルノ校舎ナキニアラスト雖モ或
ハ佛國ノ法律ヲ兼修セシメ或ハ專ラ英米法ヲ攻究ス
ルモ專一ノ力ヲ其全體ニ及ホシ以テ實地應用ノ素ヲ
養フモノ未曾テ之アルヲ見ス是レ常ニ英米法學者ノ
慨嘆スル所ナリ余輩茲ニ見ル所アリ數多ノ英米法學
者相集マリテ英米法律ノ全科ヲ教授シ其書籍ヲ著述

創立旨趣

一

シ其法律書庫ヲ設立スルノ目的ヲ以テ本校ヲ設置ス
明治十八年七月

英吉利法律學校

其校今般特ニ帝國大學總長ノ監督ニ屬セララル、旨文
部大臣ヨリ被相達候條此旨心得ヘシ

但文部大臣ヨリ帝國大學ニ達セラレタル私立法
律學校特別監督條規一部ヲ交附ス

明治十九年十二月二日 東京府知事高崎五六

○私立法律學校特別監督條規

文部省ニ於テハ今回私立法律學校特別監督條規ヲ設ケ乃東京府下ニ在ル專修學校、
明治法律學校、東京專門學校、東京法學校、英吉利法律學校、ノ五校ハ帝國大學總長ヲシ
テ特ニ之ヲ監督セシムルコトトセリ其條規左ノ如シ (文部省報告)

私立法律學校特別監督條規

第一條 文部大臣ハ東京府下ニ於テ適當ナリト認ムル私立法律學校ヲ擇ヒ特ニ帝國
大學總長ヲシテ之ヲ監督セシムルコトアルヘシ
但本文ノ學校ト雖尙一般私立法律學校ノ例ニ依リ地方官ノ管理ヲ受クヘキハ勿論タ
ルヘシ

第二條 帝國大學總長ノ監督ニ屬スヘキ私立法律學校ハ必要ノ普通學科ヲ修メタル
者ヲシテ入學セシメ三年以上ノ課程ヲ以テ左ノ三科ノ一ヲ教授スルモノタルヘシ
但各科ニ掲クル法律中帝國ニ於テ既ニ制定頒布アリタルモノハ主トシテ之ヲ教
授シ外國法ハ傍ラ之ヲ對照スヘキモノトス

佛蘭西法律科

第一年 法學通論 民法(人事篇) 私權、身分證書 住所、失踪、婚姻、離婚、父タル
コト養子、父權、幼者後見、丁年者、禁治產、裁判上ノ補佐人、同(財產篇) 財產區
別、所有權、收買權、地役、刑罰法 第二年○民法 時効、契約、賣買、交換、質貸、附托、偶
生契約、代理、和解、會社、○訴訟法、○治罪法 第三年○民法 保證、質書、入質、先取
權、相續、贈遺、遺囑、婚姻、財產契約、○商法

○擬律擬判
獨逸法律科

第一年 法學通論○民法人權○同物權○刑法
 第二年 民法契約親族財產相續○商法○裁判所構成法○治罪法
 第三年 訴訟法○海上法○爲替法○保險法○破產法○擬律擬判

英吉利法律科

第一年 法學通論○契約法○私犯法○代理法○刑法
 第二年 親族法○組合會社法○動產委託○賣買法○財產法○治罪法
 第三年 破產法○證據法○保險法○訴訟法○流通證書○商船法○擬律擬判
 第三條 帝國大學總長監督ニ屬スル私立法律學校ノ爲メニ帝國大學總長ハ法科大學職員ノ中ヨリ委員ヲ撰定シ常時及試験ノ時ニ於テ該學校ヲ臨監セシムルモノトス
 第四條 該私立法律學校校主ハ毎月三日迄ニ其月ノ課業時間割表ヲ帝國大學へ差出ヘキモノトス
 第五條 該私立法律學校ニ於テ定期試験ヲ行フトキハ少クトモ三日以前ニ校主ヨリ其科目及時間割表ヲ帝國大學へ差出スヘキモノトス
 第六條 該私立法律學校ニ於テハ毎定期試験第二週間内ニ其成績表ヲ製シ校主ヨリ帝國大學へ差出スヘキモノトス
 第七條 該私立法律學校ノ卒業生ニシテ帝國大學總長ニ於テ優等ナリト認メタル者ハ法科大學ニ於テ司法官吏立合ノ上更ニ試験ヲ爲スコトアルヘシ此場合ニ於テ試験及第ノ者ニハ及第證書ヲ交付ス
 第八條 帝國大學總長ハ委員ノ報告ニ因リ該私立法律學校主ニ學科課程及教授等ノ改正ヲ諭告スルコトアルヘシ

英吉利法律學校規則目錄

第一章	總則	一
第二章	學年、學期、休業	二八
第三章	學生及校友	九
第四章	入學、在學、退學	一一
第五章	證書	一四
第六章	學期及學年試驗	一六
第七章	校外生規則及ヒ附則	一九
第一款	講義錄	同
第二款	校外生入學在學規則	二〇
第三款	校外生質問規則及ヒ附則	二三
第八章	書庫規則	二五

第一款 閱覽室規則

二五

第二款 圖書携出規則

二七

第三款 第二科教科書貸與規則

二八

○

校内生月謝納付手續

三〇

教場心得

三一

事務章程

三二

講師姓名

三五

事務員姓名

三七

卒業生姓名

三九

英吉利法律學校規則

第一章 總則

第一條 目的

本校ハ帝國法律ノ實地應用ヲ練習セシムルヲ目的トシ本邦制定ノ法律ヲ教授スルノ外廣ク法理ニ通達スル爲メ邦語又ハ原書ヲ以テ英吉利法律學ヲ講究スルモノトス

第二條 學科

本校ノ科程ヲ分テ第一科第二科トス第一科ハ邦語ヲ以テ法律ヲ教授シ第二科ハ英米ノ原書ヲ以テ法律ヲ教授ス

第三條 課目

第一科ノ課目左ノ如シ

○第一學年 前期 自九月至二月

- 一 法學通論
- 一 契約法
- 一 親族法
- 一 日本刑法
- 一 動產委託法
- 一 私犯法
- 一 代理法

第一章 總則

一 英語學

一 習字 電信局出版 習字書

一 綴字

鈴木重陽著 スペラ

一 素讀

ウイルソン氏
ウイルソン氏
ウイルソン氏
第一讀本
第二讀本

一 譯讀

ウイルソン氏
第二讀本

參考科

一 英國刑法

一 理財學

一 財政學

後期自三月至七月

一 法學通論

一 契約法

一 私犯法

一 日本刑法

一 組合法

一 習字

電信局出版 習字書

一 綴字

ウエブスター氏
スベルリングブック

一 素讀

サンダー氏
第三讀本
パーレー氏
萬國史

一文法

スウギントン氏
小文法書

一 譯讀

參考科

一 英國刑法
一 財政學

一 論理學

一 理財學

○ 第二學年

前期自九月至二月

一 賣買法

一 動產法

一 不動產法

一 會社法

一 商船法

一 證據法

一 治罪法

一 訴訟法

一 擬律擬判

一 判決學

契約法
私犯法

一 作文

一 書取

スマイルス氏
自助
スウギントン氏

國史論

一判決例雜
 一英語學
 一素讀ブラクストン氏
 一譯讀テリイ氏 小英法註釋
 一憲法
 一動產差押法
 一理財學
 一憲法
 一行政法
 一訴訟演習
 一財政學
 一財產法
 一英羅兩法異同辨

參考科
 一憲法
 一動產差押法
 一理財學
 第二科ノ科目左ノ如シ

○第一學年
 テリイ氏 法律原論
 ケント氏 親族法
 ストリイ氏 動產委託法
 ハリス氏 英國刑法
 セボン氏 論理學
 アンソン氏 契約法
 ストリイ氏 代理法
 日本刑法
 アンダーヒル氏 私犯法
 ボロツク氏 組合法
 一英國刑法
 一論理學
 一私犯法
 一組合法
 一英國刑法

參考科

一財政學
 ○第二學年

ベンジャミン氏 賣買法
 ケント氏 會社法
 スミス氏 訴訟法
 アンソン氏 契約法
 日本刑法
 ウィリアム氏 動產法
 チアールマルス氏 流通證書法
 擬律擬判
 アンダーヒル氏 私犯法
 一治罪法
 一理財學
 一破產法
 一訴訟法
 マークビー氏 法理原論
 メイン氏 法律沿革論
 パウエル氏 證據法
 オリバー氏 商船法
 ストリイ氏 判決例
 一代理法
 一保險法
 一財政學
 一國際私法

參考科
 一英國法律
 ○第三學年

一衡平法
 一法理學
 一破產法
 一訴訟法
 一法理原論
 一法律沿革論
 一保險法
 一國際私法

參考科

一 ハンター氏小ノ分
 一 羅馬法
 一 ホール氏
 一 國際公法

一 憲法
 一 行政法
 一 訴訟演習
 一 理財學
 一 財政學

第二章 學年、學期、休業

第四條 修業年限

第一科第二科共修業年限ヲ三年トス

第五條 學年

九月十一日ヨリ翌年七月十日マテ一學年トス

第六條 學期

一學年ヲ分チテ二學期トス左ノ如シ

自九月十一日
 至翌年二月十日
 第一學期

自二月十一日
 至七月十日
 第二學期

第七條 休業

本校休業日左ノ如シ

自七月十一日至九月十日

自十二月二十六日至翌年一月六日

日曜日及大祭日

第三章 學生及校友

第八條 學生ノ等級

學生ノ等級ハ學年ノ數ニ準シテ第一年級第二年級第三年級ノ三級ニ分ツ

第九條 學生ノ區別

第一科ニ入學スル者ヲ分チ校內生校外生トス

第二科ニハ校外生ヲ置カス

第十條 校內生、校外生

本校ニ通學シテ講義ヲ聽聞スルモノヲ校內生トシ本校ニ通學セスシ

テ本校出版ノ講義録ニ依リ脩業タル者ヲ校外生トス但校外生規則ハ別ニ之ヲ定ム

第十一條 員外生

必用ノ普通學科ヲ脩メタル證ヲ有スルモノニシテ臨時入學スル者ハ之ヲ員外生ト稱シ第一年級講義ヲ聽聞スルコトヲ得

第十二條 員外生受験

員外生ハ何時ニテモ入學スルコトヲ得ルト雖モ入學試験ノ際入學試験ヲ受ケ且正員ト同ク試験ヲ受ケ及第シタル者ニアラサレハ正員トシ第二級ニ編入セズ

但本條ニ從ヒ正員トナリタル者ノ序次ハ其一年間ハ從來ノ正員ノ後ニ置ク者トス

第十三條 校内生ノ特權

校内生ハ本校ノ書庫ニ備付クル圖書ヲ閱覽シ本校出版ノ講義録並ニ英文法律書ヲ實價ニテ買受ルコトヲ得

但月謝不納者ハ該月出版ノ講義録ヲ買受クルコトヲ得ス

第十四條 校友ノ特權

就學證書又ハ卒業證書ヲ有スル者ハ本校々友トナシ常ニ本校ニ出入シテ講師ニ就キ學問上ノ質疑ヲ爲シ若クハ本校書庫ノ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第四章 入學、在學、退學

第十五條 入學

本校ニ入學セント欲スル者ハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

- 一 年齢十八歳以上ノ男子タル者
 - 二 入學試験ニ合格スル事
 - 三 必用ノ普通學科ヲ修メタルコト
- 二年級以上へ入學セントスル者ハ前條件ノ外ニ前級科目ノ試験ヲ受クルコトヲ要ス
- 但入學試験課目ハ其都度之ヲ廣告ス

第十六條 入學期

定期入學ハ毎年七月九月ノ兩度トス

但試験期日ハ其都度之ヲ公告ス

第十七條 入學申込証

入學セント欲スル者ハ本校ヨリ定式ノ入學申込証ヲ受取り指定ノ記入ヲ爲シテ試験期日マテニ本校教務掛ヘ差出スヘシ

入學申込証雛形

入學申込証

拙者儀御校(第一科第二科)第(一、二、三)年級へ入學仕度就テハ御試験ノ上御許可相成度候也

明治 年 月 日

宿所

族籍

姓

年 名 齡 印

英吉利法律學校御中

第十八條 在學證

入學ノ許可ヲ受ケタルモノハ本校ヨリ定式ノ在學證ヲ受取り之ニ指定ノ記入ヲ爲シ保證人ト連署シテ本校教務掛ニ差出ス可シ

在學證雛形



(第一科第二科)

校内生在學證

拙者儀此度貴校第(一、二)年級へ入學被差許候上ハ在校中御規則堅ク相守リ可申候仍テ證書如此候也

明治 年 月 日

宿所

族籍

姓

年 名 齡 印

前文何某在校中一切ノ事件ハ拙者引受可申候仍テ證書如此候也

宿所

族籍

姓

名 印

英吉利法律學校御中

第十九條 束修

第一科又ハ第二科校内生ニ入學スル者ハ束修金一圓ヲ納ムヘシ但校外生ヨリ校内生ニ移ル者ハ束修ヲ要セス

第二十條 月謝
月謝ハ第一科第二科共ニ金壹圓トス

第二十一條 退學

退學セント欲スル者ハ保證人連署ノ證書ヲ以テ其旨本校教務掛ヘ届出ツ可シ

ニケ月以上無斷缺席スル者ハ退學者ト看做シ學籍ヨリ削除スヘシ

第二十二條 缺席

缺席一ケ月以上ニ及フト雖モ豫メ其旨届出テサル者ハ出席者ト看做シ月謝金ヲ徴収スヘシ

第五章 證書

第二十三條 就學證書

學年平均點數ニ合格點數以上ヲ得タル者ハ其學年ノ就學證書ヲ授與ス

就學證書雛形

何某本校第(一、二、三)年級ノ
課程ヲ履ミ試験ヲ完フ
セリ茲ニ之ヲ證ス
(課目) (受持講師姓名連印)
(全) (全) (全)
年(全)月(全)日(全)
英吉利法律學校長(印)

第二十四條 卒業證書

三學年ノ就學證書ヲ得タル者ニハ卒業證書ヲ授與ス
卒業證書雛形

何某本校ニ於テ法律學
全科ヲ修メ其業ヲ卒業
シテ卒業證書ヲ授與シ
爰ニ之ヲ證ス爾後永ク
本校ノ友タルノ特權ヲ
享有スヘシ
年(全)月(全)日(全)
英吉利法律學校(印)

第六章 學期及學年試驗

第二十五條 學期試驗

各課目ニ付キ一學年ノ間ニ於テ少クトモ二回以上學期試驗ヲ施行ス

第二十六條 學年試驗

學年試驗ハ毎年六月二十一日ヨリ施行ス

第二十七條 學期點數

一課目ニ付キ一學年間ニ施シタル學期試驗ノ點數ヲ加ヘ其試驗ノ度數ニテ其和ヲ除シテ得タル數ヲ以テ學期點數トス

第二十八條 學期平均點數

一學年間ニ於ル各課目ノ學期點數ヲ加ヘ其課目ノ數ヲ以テ其和ヲ除シテ得タル數ヲ學期平均點數トス

第二十九條 學年試驗點數

一課目ニ付キ一學年ノ終ニ施行スル試驗ノ點數ヲ學年試驗點數トス

第三十條 點數ノ價格

一課目ノ學期點數ヲ二トシ學年試驗點數ヲ一トス

第三十一條 學年點數

一學年ノ終ニ於テ學期點數ニ二ヲ乘シ之ニ學年試驗ノ點數ヲ加ヘ三ヲ以テ其和ヲ除シテ得タル數ヲ以テ其課目ノ學年點數トス

第三十二條 學年平均點數

各課目ノ學年點數ヲ加ヘ課目ノ數ヲ以テ其和ヲ除シテ得タル數ヲ學年平均點數トス

第三十三條 合格點數

六十點以上ヲ以テ合格點數ス

第三十四條 學期平均點數不合格

學期平均點數合格點ニ達セサル者ハ落第トス

第三十五條 及第落第

每學年ノ終ニ於テ左表ノ定規ニ據リ學生ノ及第落第ヲ定ム

諸課目平均點數	學年試驗ニ合格セサル課目ノ數	最下點	下點	
六十以上	無			及
同上	一課目	五十以上		及(學期點數)五十以下ナレハ落

同	上	一課目	五十以下	落	(學期點數) 六十以上ナレハ	及
同	上	二課目	五十以上	落	(一科目ノ學期點數) 六十以上ナレハ	及
同	上	二課目	四十以上 五十以下	落	(二科目共ニ學期點數) 六十以上ナレハ	及
同	上	二課目	五十以下	落		
同	上	三課目以上	六十以下 五十以上	落	(學期平均點數) 八十以上ナレハ	及
六十以下	一課目以上	六十以下	落			

第三十六條 臨時試驗

已ムテ得サル事故ニテ學年試驗ニ缺席シタル者ニシテ學期平均點數六十點以上ヲ得タル者ハ次學年ニ至リ臨時試驗ヲ受クルコトヲ得

第三十七條 點數表

學期點數學期平均點數學年試驗點數學年點數學年平均點數ハ每學年ノ終ニ其明細表ヲ作り之ヲ印刷ニ付シ各學生ノ保證人ニ配付ス

第七章 校外生規則

第一款 講義錄

第三十八條 通則

遠隔ノ地方ニ在リ又ハ業務ノ爲メ參校シテ親シク講義ヲ聽ク能ハサルモノ、便チ計リ校外生ノ制ヲ設ケ本校講師講義ノ筆記ヲ印刷シテ之ヲ頒ツ

第三十九條 種類

講義錄ハ第一級講義錄第二級講義錄第三級講義錄ノ三種トス但第三級講義錄ハ明治二十年九月ヨリ之ヲ出版ス

第四十條 出版日

第一級講義錄ハ毎土曜日ニ發兌シ第二級講義錄ハ毎水曜日ニ之ヲ發兌ス

第四十一條 紙數

講義錄ハ都テ一冊ノ紙數九十ページヲ限リトス

第四十二條 記載事件

講義錄ハ講義ヲ記載スルノ外本校ノ記事及廣告類ヲ記載スルモノト

ス

第二款 校外生入學在學規則

第四十三條 通則

何人ニ限ラズ本規則ニ從ヒ校外生ヲラント欲スルモノハ試驗ヲ要セ
ス何時ニテモ入學ヲ許ス

第四十四條 教科及修業年限

教科及修業年限ハ校内生ニ準ス

第四十五條 講義録配付

校外生ニハ每週一回英吉利法律講義録ヲ配付スヘシ

第四十六條 證書

校外生ニシテ就學證書又ハ卒業證書ヲ受ケント欲スルモノハ望ニ依
リ試験ノ上之ヲ授與スヘシ

第四十七條 入學手續

但受験ヲ望ムモノハ其學年ノ終ル前ニ申出ツヘシ
校外生タラント欲スルモノハ其氏族籍住所年齢ヲ記シタル入學證

ニ束脩並ニ一ヶ月分月謝ヲ添ヘ申込ムヘシ

第四十八條 入學證

校外生入學證雛形 (用紙半紙野紙)



私儀今般貴校へ入學御許可相成候上ハ在學中御規則堅ク相守可申
候仍テ證書如斯候也

年月日

宿所族籍

姓

年

名

印 齡

英吉利法律學校御中

第六十九條 束脩

校外生ハ束脩金五十錢ヲ納ムヘシ

第五十條 月謝

校外生ハ毎月翌月分ノ月謝金七十錢ヲ前納スヘシ
但前納セサルモノハ講義録ノ配付ヲ見合スヘシ

第五十一條 増金

將來印刷費遞送費等增加スルトキハ豫メ通知シテ相當ノ増金ヲ納メシムルコトアルヘシ

第五十二條 月謝金不返付

既ニ受領シタル月謝金ハ假令本人ノ都合ニヨリテ退學スト雖モ之ヲ返付セス

第五十三條 住所通知

住所ヲ轉シ又ハ氏名ヲ改稱スル者ハ速ニ本校講義録掛ヘ通知スヘシ

第五十四條 月謝金遲滯

月謝金不納ニケ月以上ニ及フトキハ退校生ト看做スヘシ故ニ再ヒ送本ヲ請フモノハ更ニ入學ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第五十五條 月謝金送付手續

月謝金ヲ爲替トシテ送致スルモノハ東京神田區錦町二丁目二番地英吉利法律學校會計岡山兼吉ヘ宛東京神田郵便局ヘ向ケ振込ムヘシ

第五十六條 同上

月謝金ハ郵便切手ヲ以テ納付スルコトヲ禁ス
通運會社ニ托シ貨幣ヲ送致スルモノハ配達料一錢ヲ添ヘ拂込ムヘシ

第三款 校外生質問規則

第五十七條 通則

本校々外生ハ講義録ニ登載スル諸課目ニ限リ疑問アルキハ通信ヲ以テ之ヲ質スコトヲ得但擬律擬判ノ問ハ一切答案ヲ付セサルモノトス

第五十八條 質問信書

質問信書ニハ講義録ノ號數(合本ニ爲シタルタメ號數ノ見)課目丁數ヲ示シ疑問ノ要點ヲ明瞭ニ記載スヘシ

第五十九條 答案

凡ソ質問ハ質問委員ニ於テ其難易ヲ判別シ主旨自ラ明瞭ナリト認ムルモノ若クハ質問通信ノ文意了解シ難キモノハ答案ヲ付セサルヘシ

第六十條 問答記載

質問及答案ハ時々講義録ノ紙尾ニ登錄スヘシ

第六十一條 質問信書名宛

質問信書ハ本校質問委員ニ宛テ郵送スヘシ

校外生附則

第一條

入校以前ノ講義録ヲ購求セント欲スルモノニシテ一ヶ月分以上ヲ購讀スルモノハ一冊金拾錢宛ノ割ヲ以テ拂下クベシ

第二條

各級ヲ兼脩スルハ妨ケナシト雖モ各級毎ニ更ニ入學證書ヲ差出スベシ

但束脩ヲ要セズ

第三條

爲換券ニテ月謝拂込ノ節ハ其證券落手次第講義録ハ發送スルモ月謝領收證ハ爲換金請取濟ノ上ニテ送付スルモノトス

第四條

講義録ハ期日ニ必ス發兌スヘキニ付其到着スヘキ當日ヨリ起算シ一週間ニ及フモ尙到達セサルトキハ其旨本校講義録掛へ届出ツヘシ

第五條

校外生ノ本校ニ對スル書信ハ都テ何年級校外生ト記載スベシ

第六條

講義録刊行其他校外生ニ關スル事務ハ本校休暇中ト雖モ取扱フベシ

第八章 書庫規則

第一款 閱覽室規則

第六十二條 通則

本校書庫ニ貯藏スル原書和書譯書類ハ閱覽室内ニ於テ講師校友學生及事務員ノ閱覽ヲ許ス

第六十三條 通則

圖書掛並ニ講師ノ外書庫ニ入り圖書ヲ檢索シ若クハ之ヲ出納スルヲ許サス

第六十四條 月謝未納ノ學生

學生月謝未納ノ間ハ閱覽室ニ入ルコトヲ許サス

第六十五條 退職事務員

本校ノ職員滿二ヶ年以上從職シタル者ハ退職後閱覽室ノ圖書ヲ閱覽

スルコトヲ許ス

第六十六條 閱覽票

校友及退職事務員ニシテ本校閱覽室ノ圖書ヲ閱覽セント欲スルモノハ豫メ本校事務所ニ於テ閱覽票ヲ申受ケ入室ノ際之ヲ携持スヘシ

第六十七條 借受手續

凡テ閱覽者ハ圖書掛ヨリ定式ノ借覽證書ヲ受取り之ニ指定ノ記入ヲ爲シ差出スヘシ

第六十八條 借覽冊數

閱覽者ハ一時ニ三冊ヲ限リ借覽スルコトヲ許ス但講師ハ此限ニ非ス

第六十九條 書籍返納

閱覽室ヲ立出ツル時ハ必ス書籍ヲ返納ス可シ

第七十條 賠償

借覽ノ書籍ヲ紛失シ又ハ汚損スルトキハ相當ノ償金ヲ差出サシムヘシ

第七十一條 音讀等ノ禁

閱覽室内ニ於テ音讀雜談喫煙スルコトヲ禁ス

第七十二條 罰則

此規則ヲ犯シタルモノハ事情ニ應シ一ヶ月以内ニ於テ閱覽室ニ入ルコトヲ禁ス

第七十三條 閱覽室ノ開閉

閱覽ノ開閉左ノ如シ

自九月十一日	至九月十一日	午前七時三十分ニ開キ午後九時ニ閉ツ
自十月十一日	至十月十一日	午前八時ニ開キ午後九時ニ閉ツ
自十一月九日	至十一月九日	同上
自十二月廿五日	至十二月廿五日	午前七時三十分ニ開キ午後九時ニ閉ツ
自一月十一日	至一月十一日	午前七時三十分ニ開キ正午十二時ニ閉ツ
自二月十一日	至二月十一日	
自三月十一日	至三月十一日	
自四月十一日	至四月十一日	
自五月十一日	至五月十一日	
自六月十一日	至六月十一日	
自七月十一日	至七月十一日	
自八月十一日	至八月十一日	

第二款 圖書携出規則

第七十四條 講師

講師ハ參考用ノ爲メ七冊ヲ限リ本校ノ圖書ヲ借受ケ自宅ニ携帶スルコトヲ得

第五十四條 借受手續

前條ニ於テ圖書ヲ携出セント欲スルモノハ圖書掛ニ就キ貸附簿ニ記名捺印シ幹事ノ檢印ヲ受クヘシ

第七十六條 借受制限

書庫ニ一冊限り保存スル書籍ヲ携出スルモノハ可成速ニ返納スルコトヲ要ス

第七十七條 事務員携出

事務員ハ特ニ幹事ノ許可ヲ受クルニアラサレハ書庫ノ圖書ヲ携出スルコトヲ許サス

第七十八條 返納

凡テ携出シタル圖書ハ毎年七月一日ヨリ同十五日マテニ悉ク返納ス可シ若シ之ヲ返納セサル者ハ紛失者ト看做シ相當ノ代價ヲ徴收ス可シ

第三款 第二科教科書貸與規則

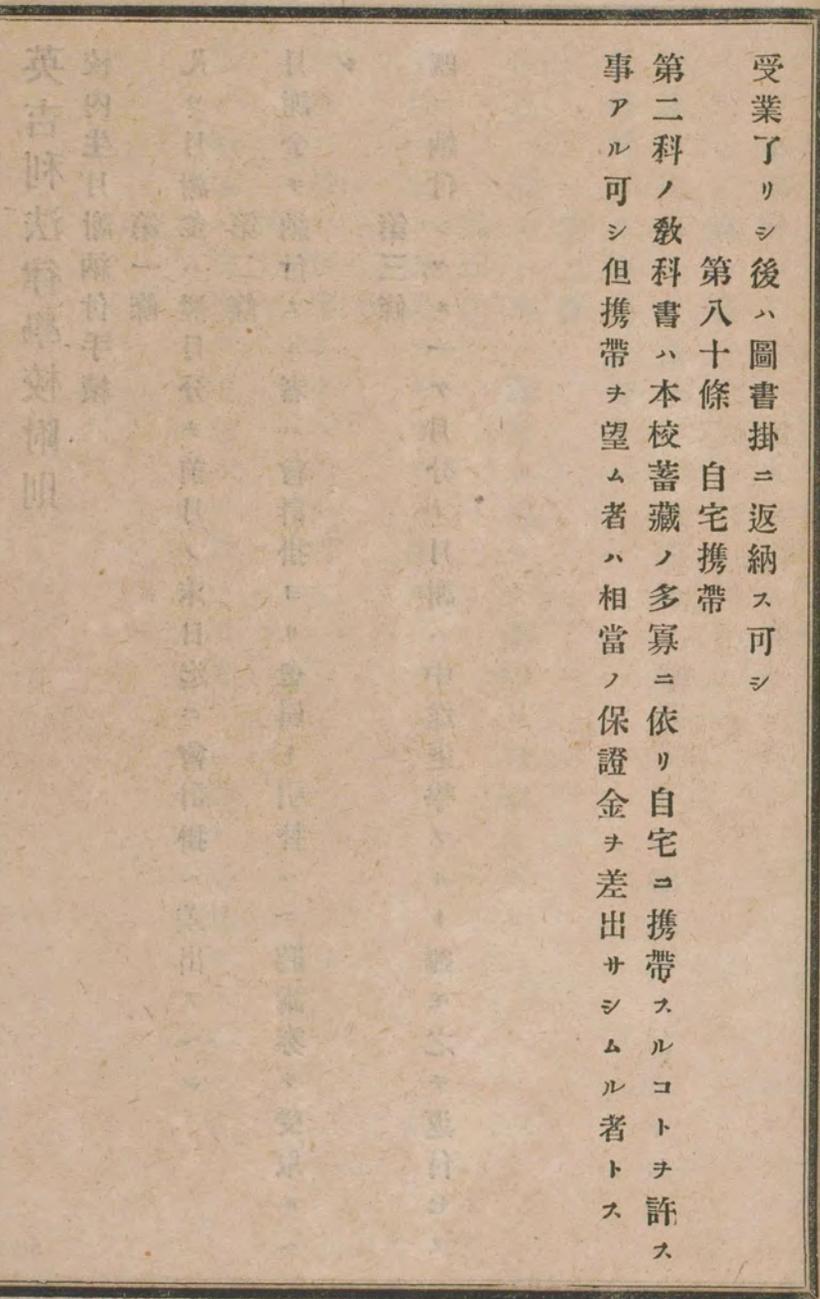
第七十九條 教場携帶

第二科學生ハ受業ノ爲メ書籍ヲ借受ケ教場ニ携帶スルコトヲ許ス但

受業了リシ後ハ圖書掛ニ返納ス可シ

第八十條 自宅携帶

第二科ノ教科書ハ本校蓄藏ノ多寡ニ依リ自宅ニ携帶スルコトヲ許ス事アル可シ但携帶ヲ望ム者ハ相當ノ保證金ヲ差出サシムル者トス



英吉利法律學校附則

校内生月謝納付手續

第一條

凡ソ月謝金ハ翌月分ヲ前月ノ末日迄ニ會計掛ヘ差出スヘシ

第二條

月謝金ヲ納付スル者ハ會計掛ヨリ金員ト引替ヘニ聽講券ヲ受取ルヘ

第三條

既ニ納付シタル一ヶ月分ノ月謝ハ中途退學スルト雖モ之ヲ返付セス

教場心得

第一條

教場ニ出席スル者ハ必ス聽講券ヲ携帯スヘシ聽講券ヲ持タサル者ハ

教務掛ヨリ退場ヲ命スヘシ

第二條

教場ニ於テハ專ラ靜肅ヲ旨トシ講師ニ恭順ナルヘシ

第三條

教場ニ於テ雜談スルコトヲ禁ス

第四條

教場ニ於テ喫煙スルコトヲ禁ス

第五條

凡ソ教場ノ器物ヲ汚損スル者ハ相當ノ償金ヲ差出サシム

事務章程

第一章 職員

第一條

英吉利法律學校ニ事務所ヲ設ケ左ノ職員ヲ置キ本校一切ノ事務ヲ取扱ハシム

一 校長 一人

校務ヲ總理ス

一 幹事 一人

旨ヲ校長ニ享ケ事務員ヲ指揮ス

一 會計掛 二人

本校金銭出納ニ關スル一切ノ事務ヲ處辨ス

一 教務掛 二人

本校學生ノ勤惰教務上ノ應對校外生ノ進退其他教務ニ關スル一切ノ事ヲ處辨ス

一 講義錄掛 四人

講義錄ノ發送讓渡ノ事ヲ掌ル

一 編輯掛 六人

講師ノ講義ヲ筆記シ講義錄編輯出版ノ事ヲ掌ル

一 圖書掛 二人

圖書ノ出納ヲ掌リ圖書ニ關スル一切ノ帳簿ヲ保管ス

一 校丁 若干名

校舎ノ洒掃其他ノ賤務ニ従事ス

第二章

第二條

職員ハ毎日午後一時ヨリ出勤シ午後六時ニ退出ス

但圖書掛ハ圖書規則ニ從ヒ閱覽室開場ノ前三十分ニ出勤シ閉場後三十分ニ退出スル者トス

第三條

事務章程

宿直ハ午前七時ニ出勤シ翌日午前七時次宿直ノ者ト交代ス

第四條

宿直ハ其當番中事務所一切ノ事務ヲ代辨シ出務時間ニ至リ之ヲ各掛員ニ引渡スヘシ但其當番ノ所爲ハ自ラ其責ニ任スル者トス

明治二十年八月

英吉利法律學校規則 畢

講師姓名

法學士	山田喜之助
帝國大學助教授 <small>(不在)</small>	土方寧
法學士	奥田義人
法學士	岡山兼吉
米國法律學士	菊地武夫
法學士	松野貞一郎
法學士	元田肇
法學士	澁谷慥爾
法學士	大谷木備一郎
法學士	高橋捨六
法學士	増島六一郎

法學士	藤田隆三郎
パリすとの	高橋健三
法學士	岡村輝彦
法學士	伊藤悌治
法學士(不在)	馬場愿治
法學士	關直彦
米國法律學士	江木衷
米國法律學士	小村壽太郎
パリすとの	金子堅太郎
文(不在)	東三條公恭
法科大學卒業生	坪井九馬三
	戸水寛人

法學士	畠山重明
	工藤則勝
	三阪繁人
	中橋徳五郎
	中村元嘉
	寺島直
博言學士	駒井重格
米國法律學士	イーストレーキ
パリすとの	シドモール
	リッチフィールド
職員姓名	増島六一郎
校長	

明治十九年七月卒業生姓名

長崎縣士族 山口正毅

埼玉縣平民 石山彌平

長野縣平民 畔上啓策

廣島縣士族 古屋市之助

明治二十年七月卒業生姓名

福岡縣士族 山本勝助

長崎縣士族 山口正毅

埼玉縣平民 石山彌平

兵庫縣平民 佐野春五

廣島縣平民 藤井九一郎

大坂府士族 安元阿萬

新潟縣平民 新澤文次郎

愛知縣士族 若山眞太郎

京都府士族 川村鋼太郎

岐阜縣士族 三浦大之助

島根縣平民 米原光太郎

廣島縣士族 宇宿行夫

山梨縣平民 網倉兵作

千葉縣士族 星野操

廣島縣士族 柚木角衡

愛媛縣平民 和泉漱三

千葉縣平民 江澤通明

新潟縣平民 上野關太郎

廣告

入學試驗科目

第一科 (邦語科) 左ノ如シ

一、國語 (假名交リ
作文類)

三、數學 (四則、分
數、比例)

五、歷史 (萬國
史)

二、漢文 (讀白文
訓點ノ類)

四、地理 (萬國
地理)

第二科 (原書科) 左ノ如シ

第一科入學試驗科目ノ外ニ左ノ英語學ヲ試驗ス

英語學

一、作文

三、譯讀 (スキャントン氏
萬國史)

二、素讀 (マコーレイ氏ハスチング傳
ギズグー氏文明史)

尋常中學卒業ノ免狀ヲ有スル者ニシテ第一科生タラントスル者ハ試驗ヲ經スシテ入
學ヲ許ス

右免狀ヲ有スル者ニシテ第二科生タラントスル者ハ英語學ノミヲ試驗スヘシ
第一科二年級、二年級及ヒ第二科二年級へ入學セント欲スル者ハ右普通學科ノ外ニ
各前級ノ科目ニ就テ試驗ス可シ
○校外生及員外生ハ何時ニテモ試驗ヲ要セス入學ヲ許ス

20051775

第四十條 出版日

第一年級講義録ハ毎火曜日ニ發兌シ
第二年級講義録ハ毎木曜日ニ發兌シ
第三年級講義録ハ毎土曜日ニ發兌ス

20051775